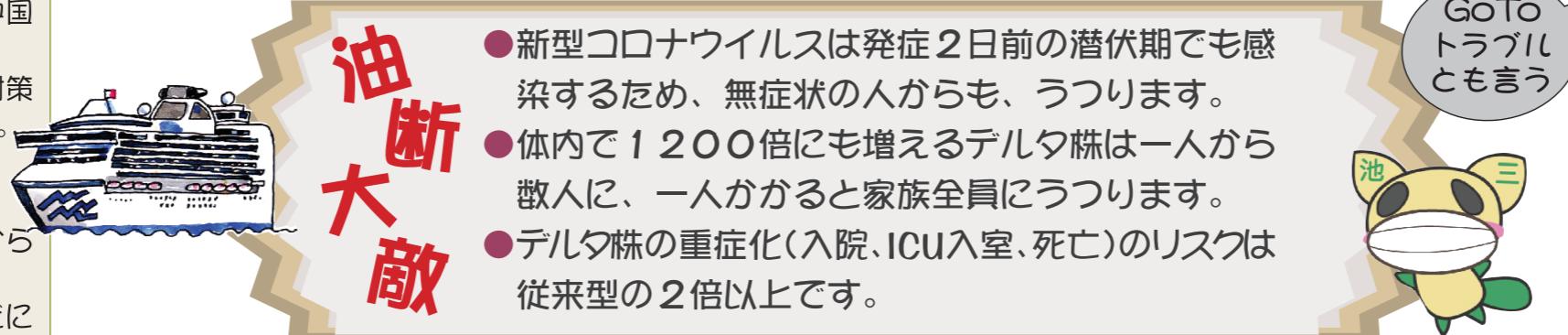


国内での新型コロナウイルス感染症の経過

- 令和元年 12月31日 武漢市当局は、同市の海鮮物市場関係者を中心に複数の肺炎患者が発生していることを発表。
- 令和2年 1月9日 この肺炎が新型コロナウイルスによるものであることが、中国当局から発表。
- 1月30日 新型コロナウイルス感染症対策本部（政府対策本部）の設置を閣議決定。
- 2月5日 ダイヤモンド・プリンセス号で乗客乗員10人の感染を確認。
- 2月24日 政府の専門家会議が「これから1~2週間が瀬戸際」との見解を示す。
- 2月27日 安倍首相が小・中・高校などについて3月2日から春休みまでの全国一斉の臨時休校を要請。
- 3月11日 WHOがパンデミックと認定。
- 3月24日 東京オリンピック・パラリンピックの延期決定。
- 3月25日 小池都知事が週末の外出自粛を要請。
- 3月29日 タレントの志村けんさんコロナウイルス感染で死亡。
- 4月 第1波発生
- 4月1日 安倍首相が1世帯当たり布マスク2枚の配給を発表。
非常に評判が悪かった
- 4月7日 首都圏など7都府県を対象に緊急事態宣言。
- 4月11日 東京都による遊興施設などの休業要請開始。
- 4月16日 国民への一律10万円支給を表明。給付金は7月に振り込まれた方が多かったようです。
- 4月17日 東京都の1日の感染者が最多に。世田谷区、港区をかわきりにアベノ布マスク配布開始。
- 4月23日 甘優の岡江久美子さんコロナウイルス感染で死亡。
- 5月4日 緊急事態宣言を全国一斉に5月末まで延期を決定。
- 5月14日 39県で緊急事態宣言を解除。
- 5月25日 全域で緊急事態宣言を解除。(49日間にわたる国民の自粛生活に一区切りがついた)
- 6月24日 専門家会議の構成員らは「次なる波に備えた専門家助言組織のあり方について」と題する提言書を公表する。

新型コロナウイルス感染症事情

人が動けば流行が始まります



ワクチン接種の効果

感染予防 発症予防 重症化予防



- ★換気の悪い密閉空間
- ★多数が集まる密集場所
- ★間近で会話や発声をする密接場面

日常の対策・マスクは必須

マスクの予防・拡散効果の比較

マスク	効果	予防効果 うつらない	拡散効果 うつさない
不織布マスク	70%	80%	
布マスク	35~45%	66~82%	
ウレタンマスク	30~40%	50%	



東京都新規感染者グラフ



■7月22日 専門家の意見に従っていたら、一生解除出来ないと考えた官邸側は、GoToキャンペーンを開始。

■8月 第2波発生

■10月1日 東京発着分も含めGoToトラベルキャンペーン開始。

■12月 コロナウイルス感染拡大GoToキャンペーンGoToトラベルの影響か感染者が増えってきた。

■12月28日 GoToトラベル全国一斉に一時停止発表。

■令和3年 1月・2月 第3波発生

コロナウイルス感染拡大。

■1月8日 首都圏4都県に2度目の緊急事態宣言。

■2月17日 医療従事者への新型コロナワクチン接種開始。

■3月21日 緊急事態宣言解除。

■4月12日 東京都は新型コロナワクチン接種を感染者の多い世田谷区・八王子市で開始。世田谷区は高齢者施設の入所者及び施設職員から接種開始。東京都は23区と6市にまん延防止等重点措置適用。

■4月・5月・6月 第4波発生

イギリス由来のアルファ株発生。

■4月25日 4都府県にまん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行。

■5月3日 世田谷区は75歳以上の方の新型コロナワクチン接種開始。(74歳以下は接種券が届き次第予約可能)

■6月21日 7都道府県は緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行。

■7月12日 東京都全域はまん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行。

■7月23日 東京2020オリンピック開幕～8月8日。

■8月24日 東京2020パラリンピック開幕～9月5日。

■8月・9月 第5波発生

インド由来のデルタ株発生。非常に大きな波が来ました。

■10月1日 緊急事態宣言解除。

■10月25日 5都府県の飲食店への時短要請解除。(東京は約11ヶ月ぶりに解除)